

ダイズの芽出し飼料におけるホソヘリカメムシ成虫の寿命と産卵数

井上 平・北村實彬(九州農業試験場)

INOUE, H. and C. KITAMURA : Longevity and Reproductivity of *Riptortus clavatus* Adults on the Sprouted Soybeans

ホソヘリカメムシの成虫は、ダイズの乾燥種子と水で長期間生存し、よく産卵することがわかっている。しかし、筆者らの観察によれば、本成虫は、乾燥種子よりも、吸水脱脂綿上で出芽させたダイズの子葉による方が、より長く生存できる。そこで、1981年この飼料を用いて、室内飼育による羽化直後の成虫の寿命と産卵数を、飼育密度との関連で調査すると共に、圃場の夏ダイズへ飛来した成虫のそれらについても調査した。結果を、ダイズ害虫としての本成虫の生態に関する知見のひとつとして報告する。本文に入るに先立ち、供試虫の入手に協力下さった宮崎県総合農業試験場病虫部並びに当場作物第二部作物第3研究室の各位に深謝する。

1. 材料及び方法

室内飼育による羽化直後の成虫は、1980年6月、宮崎県総合農業試験場より分譲を受けたものの子孫である。夏ダイズよりの捕獲成虫は、1981年に熊本県西合志町の当場内で捕獲したものである。

寿命及び産卵数調査のための飼育は、ダイズの芽出し飼料を十分に入れた4面サラシ網張りの昆虫飼育箱(40cm×40cm×50cm)内で行った。

成虫の死亡数と産卵数は、原則として毎日調査した。

2. 結果及び考察

室内飼育による羽化直後の成虫の寿命と産卵数は、第1表のとおりである。温度25℃下で、90%の個体が死亡するまでに要した日数は、雌が90~105日、雄が161~171日であった。すなわち、成虫の寿命は飼育密度に影響されないと推定された。1雌当りの産卵数は、5対飼育が237粒、10対飼育が187粒、25対飼育が173粒で、多少飼育密度に影響されると思われる(第1表)。

1981年の前記夏ダイズでは、ホソヘリカメムシの成虫は6月23日にはほとんど発見できなかったが、7月15日には捕獲虫が得られるようになった。7月15日及び7月24日に捕獲した成虫について調べた結果は、第2表のとおりである。すなわち、夏ダイズからの捕獲虫は、室内飼育虫を羽化直後から飼育した場合と化べると、寿命がやや短く、産卵数もやや少ないが、傾向としては、同程度に生存し、産卵したと思われる。従って、夏ダイズへ飛来した個体群は、羽化後それほど日数を経過したものでない個体で構成されているように推定された。

今後は、秋ダイズから捕獲される成虫についても調査を進め、ダイズのホソヘリカメムシの生態に関する知見を整えたい。

引用文献

1) 釜野静也: 応動昆, 22, 285-286, 1978

第1表 室内飼育による羽化直後のホソヘリカメムシ成虫のダイズ芽出し飼料における寿命と産卵数

(25℃, 16時間照明下)

雌雄の別	飼育密度(頭)	調査虫数(頭)	50%死亡日数(H)	90%死亡日数(H)	産卵開始前日数(H)	1雌当り産卵数(粒)
雌	♀5+♂5	5	57	90	8	237
	♀10+♂10	30	68	94	6	187
	♀25+♂25	75	76	105	6	173
雄	♀5+♂5	15	71	162	—	—
	♀10+♂10	30	103	161	—	—
	♀25+♂25	75	98	171	—	—

第2表 夏ダイズより捕獲したホソヘリカメムシ成虫のダイズ芽出し飼料における寿命と産卵数

(25℃ 16時間照明下)

雌雄の別	捕獲月日	飼育密度(頭)	調査虫数(頭)	50%死亡日数(H)	90%死亡日数(H)	産卵開始前日数(H)	1雌当り産卵数(粒)
雌	7月15日	♀18, ♂12	18	56	81	0	168
	7月24日	♀40, ♂20	40	50	96	0	126
雄	7月15日	♀18, ♂12	12	67	132	—	—
	7月24日	♀40, ♂20	20	64	110	—	—